

水野ゆうき：各委員会における議論と進展

【総務企画常任委員会】

我孫子市消防団員不足

全国的に消防団員が不足しており、我孫子市も例外ではありません。定数 266 名のところ現在 229 名と毎年 5～7 名減少傾向。

原因 処遇、人口減少、サラリーマン化(昼と夜の実稼働問題)

対応策 処遇の改善、環境改善、広報(募集)強化

あびこ魅力発信室

我孫子市の発信力・広報力の弱さをこれまで指摘してきて、新たに「あびこ魅力発信室」が今年度設置され、シティーセールス業務を担うあびこ魅力発信室長を民間から公募します。宣伝や広告業界の経験や知識がある人材を採用することになっていますが、メディアの感性や発想を重んじる必要性から年齢制限は設けないよう提言。

情報発信内容と説明責任

税金で運営しているという視点からも市にマイナスになるような事案も市民に対して SNS(我孫子市 Facebook 等)でもツールの利点を活かして情報を発信していく説明責任を果たしていくべき。Facebook に放射能情報や不祥事内容も今後掲載を。

【予算審査特別委員会】

働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業分(成人保健事業)

1,869 千円

平成 21 年度～24 年度までの 4 年間に実施したがん検診推進事業の未受診者に対し、無料クーポン配布。対象者:21,730 人(子宮頸がん 10,875 人、乳がん 10,855 人)

➡ 未受診者=前回配布しても行かなかった人ということから今回は配布時期や検診啓発として新たな工夫の必要性。

➡ 若い女性に発症率が高い子宮頸がん。当事者意識を植え付ける広報を。

小中学校コンピュータ教育事業

1,418 千円

小中一貫教育カリキュラム(布佐中学校区)の基盤となる ICT 教育のカリキュラム作成にあたり、タブレット型端末を配置する。

➡ タブレット型端末の活用法(具体的な勉強内容)は地域学習や情報収集、グループによる共同学習などとし、学力の向上を見込む。

➡ 指導できる教員の育成、管理体制、導入成果のフォローと評価をし、今後市内全域へ拡大していく方向。

➡ 反転授業など教育改革、ICT 教育に取り組む自治体が増加している中、我孫子市も教育改革を進めてもらうよう提言。

【放射能対策特別委員会】

東京電力の損害賠償請求

東京電力に対し、昨年 8 月に行った総額約 2 億 4,551 万円の賠償請求のうち約 1 億 5,580 万円が、3 月末までに支払われました。

未払いとなっている経費

約 8,048 万円(内訳:放射能対策室人件費約 5000 万円、クリーンセンター内一時保管施設費約 3000 万円弱)

※人件費は賠償の対象になっていない。

そもそも原発事故がなければ人件費も発生しなかったことから東京電力にしっかりと圧力をかけ折衝をしていく必要性を指摘。

市長答弁と今後の行政対策

当然東京電力が支払うべきものであり、支払わないのであれば、東京電力が我孫子市の職員以上の職員を派遣することも要望。引き続き強く支払いを求めていく。

水野ゆうき(完全無所属)プロフィール

1983年2月19日生。我孫子市根戸生まれ、白山育ち・在住。現在我孫子市議会最年少議員。我孫子市立第四小学校、米国ロサンゼルス現地校、インターナショナルスクール、私立茗溪学園中・高を経て津田塾大学(国際関係学科)卒業。民間企業にて約3年間役員秘書を勤め、民放テレビ局報道局で経験を積む。

『我孫子ゆうき部』に参加しませんか?

『我孫子ゆうき部』は部員募集中! 部員には市政報告会、イベントなど様々な情報が届きます。主将、美人マネージャー、総務企画、顧問ともに部員として一緒に我孫子を盛り上げていきましょう! ご連絡をお待ちしております☆ 詳しくは「水野ゆうき公式ホームページ」にて。